

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-517076(P2008-517076A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-536011(P2007-536011)

【国際特許分類】

C 11 D	11/00	(2006.01)
C 11 D	17/06	(2006.01)
C 11 D	3/12	(2006.01)
C 11 D	3/08	(2006.01)
C 11 D	3/10	(2006.01)
C 11 D	3/20	(2006.01)
C 11 D	3/50	(2006.01)
C 11 D	3/37	(2006.01)
B 01 J	2/04	(2006.01)

【F I】

C 11 D	11/00
C 11 D	17/06
C 11 D	3/12
C 11 D	3/08
C 11 D	3/10
C 11 D	3/20
C 11 D	3/50
C 11 D	3/37
B 01 J	2/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月8日(2008.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペーストを乾燥させることを含む粒子の製造方法であって、
乾燥工程の間、乾燥される材料中に二酸化炭素が発生する、
方法。

【請求項2】

ペーストは、無機担体材料を含有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ペーストは、陰イオン性または陽イオン性界面活性剤を含有する、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

ペーストは、高温にて二酸化炭素を放出する物質を含有する、請求項1～3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

乾燥の直接生成物の粒子を後処理する、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法によって製造され得る粒子。

【請求項 6】

非イオン性界面活性剤および / または香料を用いて、またはこれらの成分を含有する調製物形態を用いて後処理されたものである、請求項 5 に記載の粒子。

【請求項 7】

a) 少なくとも 30 重量 % の量の担体材料、
b) 0 . 5 ~ 40 重量 % の量の香料、
c) 0 . 1 ~ 30 重量 % の量の非イオン性界面活性剤、
および、必要に応じて、さらなる成分
を含有する、請求項 5 または 6 に記載の粒子。

【請求項 8】

好ましくはポリカルボキシレートを含んでなる、被覆剤によって取り囲まれている、請求項 5 ~ 7 のいずれかに記載の粒子。

【請求項 9】

a) 請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法によって製造され得る粒子および / または請求項 5 ~ 8 のいずれかに記載の粒子、
b) 0 . 01 重量 % ~ 95 重量 % のさらなる界面活性剤、
および、必要に応じて、さらなる成分
を含有する洗剤組成物。

【請求項 10】

繊維製品を、有効量の請求項 9 に記載の洗剤組成物を含有する水性媒体に接触させる工程を含む、繊維製品の洗い方法。